《男体晩秋》 1980年代　個人蔵

生誕一〇〇年記念

古橋義朗展

―日光に生きた水彩画家

FURUHASHI Yoshiro: A Centenary Retrospective 1924-2006

2024.11.30［土］ ››› 2025.2.2［日］

休　館　日：毎週月曜日（1月1日～3日は特別開館。1月13日祝日は開館し、1月14日を休館）

年末休館：12月29日～31日／**年始休館：**1月4日～6日

開館時間：午前9時30分～午後5時（入館は午後4時30分まで）

入　館　料：一般730(650)円、大学生510(460)円、高校生以下は無料

※( )内は20名以上の団体割引料金

※身体障害者手帳、療育手帳、精神障害者保健福祉手帳、日光市公共施設使用料免除カードの交付を受けた方とその付き添いの方1名は無料となります。

※第3日曜日「家庭の日」（12月15日、1月19日）は、大学生・専門学校生以下無料となります。

※元日のみ入館無料となります。

※日光市民は一般300円、大学生200円、高校生以下無料となります。

主　　催：公益財団法人 小杉放菴記念日光美術館／日光市／日光市教育委員会／下野新聞社

KOSUGI HOAN MUSEUM OF ART, NIKKO
小杉放菴記念日光美術館

〒321-1431 日光市山内2388-3
TEL：0288-50-1200 FAX：0288-50-1201
https://www.khmoan.jp

生誕100年記念

古橋義朗展

―日光に生きた水彩画家―

2024.11.30[土] ››› 2025.2.2[日]

古橋義朗（1924-2006）は、戦後から現代にかけて、日光の美術を牽引した水彩画家です。日光町で明治初期から続く古橋旅館に生まれ、油絵を独学。やがてこの地を訪れた春日部たすくを知り、彼と同じ水彩画家を目指すようになります。

戦後、日光の画家たちによる美術グループ「青光会」に参加。また、油絵に負けない水彩画を描くことを志し、全国的な公募団体である「旺玄会」にも出品、受賞を重ねていきました。これ以降は、晩年までこの両会を主な舞台として活躍。栃木県芸術祭では長年審査員を務め、日光スケッチ同好会を指導するなど、県内美術の発展にも尽力しました。

古橋が描く日光の山々を始めとする水彩画は、筆が画面を縦横無尽に駆けまわり、その自由奔放な描写は、どこか水墨山水にも通じる感性を感じさせます。実際、1980年代には水墨画で男体山や海外風景を盛んに描いていた時期があり、それらもまた本職の日本画家とは異なる、素朴ながらも力強い魅力を放っています。晩年になると、さらなる日光の風景を求めて滝や杉並木を描き、大谷川ぞいのススキの美しさに夢中になりました。

本展は2005年に当館で開催した「日光に生まれた作家たちIII 古橋義朗展　四季の詩情―旅とともに」以来19年ぶり、没後としては初の回顧展となります。日光に生まれ、日光を描き続けたこの水彩画家の、新発見を含む初期作品から晩年までの作品80点余から振り返り、この日光に古橋義朗という画家がいたことを再確認します。

《雲かゝる男体》 1984年　小杉放菴記念日光美術館蔵

《赤い杉》 1960年代　小杉放菴記念日光美術館蔵

《二本杉》 1959年頃　個人蔵

《鳥海山》 1961年　個人蔵

● 会期中のイベント

① クロストーク「古橋義朗を知っていますか？」

岩本佳子（画家）×迫内祐司（当館学芸員）

2025年1月25日（土）午前11時より（1時間程度）

日光スケッチ同好会で古橋先生から指導を受けた岩本さんにお話をうかがいながら展示室をまわり、古橋作品の魅力を探っていきます。

② 担当学芸員によるギャラリー・トーク

2024年11月30日（土）、12月22日（日）

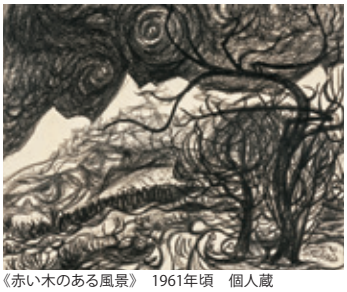
各時間＝午前11時より（1時間程度）

※①②とも入館券をお求めのうえ、お時間までに美術館受付前にお集まりください。

● 次回予告

世界遺産登録25周年　描かれた日光の社寺

2025年２月15日（土）～4月20日（日）



《赤い木のある風景》 1961年頃　個人蔵

《枯る頃》 1999年　小杉放菴記念日光美術館蔵

【会場・交通案内】

◎**電車**＝東武日光駅、JR日光駅から東武バス「世界遺産めぐりバス」もしくはやしおの湯、清滝、中禅寺温泉、湯元温泉方面行バス5分。「神橋」停留所より徒歩3分。

◎**車**＝日光宇都宮道路・日光インターから約2km

◎**駐車場**＝併設の市営駐車場をご利用ください。美術館受付で駐車券を提示していただくと、2時間まで無料となります。

KOSUGI HOAN MUSEUM OF ART, NIKKO
小杉放菴記念日光美術館

〒321-1431　日光市山内2388-3
TEL：0288-50-1200　FAX：0288-50-1201
https://www.khmoan.jp